SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　レイメイ藤井

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット) 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		当社の経営理念「知的生産をサポートする複合企業」のとおり、知的生産に関わる事業を通じて、知的環境づくり・知的文化の向上に資するパイオニアの役割を果たし、持続可能な教育・社会・環境に貢献できる企業を目指している。								8	9								17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		総務部内にコンプライアンス・社内相談窓口等の担当を設け、従業員の教育と遵守体制を整えている。また内部監査室にて各拠点における実施状況や体制・仕組みのチェックを適宜行い、PDCAサイクルを回している。																16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		経営理念のなかで「会社の責任」として公正な競争による社会的責任を方針として掲げている。社内研修等にて従業員には経営理念の意味を学習させている。										10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		総務部の中に環境・セキュリティ対策室を設置。コンプライアンスチェックを含めた組織体制を構築している。																16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		社内規程の中に「職務発明規程」を制定し、知的財産の保護に取り組んでいる。								8.2 8.3	9								
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		プライバシーポリシー並びにセキュリティポリシーを当社ホームページに掲載。個人情報の収集の目的と保護について広く開示を行っている。また個人情報保護に向けた社内教育についても日々周知を行っている。																16	
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	●		ユーザーやお取引先からは事業部毎に問い合わせ先をホームページ上に掲載し、顧客の声を常時収集出来る体制を取っている。また従業員からの声を収集する目的として「オピニオンレター」「公益通報ホットライン」「ハラスメントホットライン」を総務部に設置している。																16	17
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。		●						5			8		10		12	13	14	15	16	17
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。		●	2017年に事業継続計画書を策定。拠店(福岡・熊本等計11拠店)毎で「防災指示書」を作成し、地域の防災関係情報(行政・交通・ライフライン・気象等)、避難場所等を一覧化している。また定期的に防災訓練を実施するなかで、適宜体制や対策の見直しを行っている。									9		11		13.1			16	17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている		●									8	9								17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。		●	SDGs17の目標の全てに該当し、地球環境を守るフェアトレードの紙、バナナペーパーの販売を促進しています。	1	2			5			8				12	13	14	15	16	17
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		幹部向けの教育・研修を実施するとともに、従業員には通達等の発出を通じて「人権」の周知を図っている。				4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		産業医を交えた安全衛生委員会を毎月実施、従業員の安全・健康面について意見交換を行い、適宜「改善」を図っている。			3					8.8									
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		正社員への登用制度、正社員と同様の5日間の連続休暇制度等を制定。					5.5			8.5		10.2 10.3							
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		管理者向けの研修等により時間管理の把握・徹底を実施中。年に1回取得可能な連続休暇(5日間連続して有給休暇を消化)を制度として設け、ワークライフバランス向上に努めている。			3		5.5			8.5 8.8		10.3							
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		専門資格取得の奨励ならびに役職や業務内容に応じた研修を定期的に実施し、人材育成を推進している。				4	5.5			8	9								
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		ラジオ体操の毎朝実施、ストレスチェックの徹底、又、社員及び家族に対してのインフルエンザ予防接種の費用補助、各人に合わせた時差出勤制度、5日間の連続休暇制度等により個々に応じた従業員のワークライフバランスを推進。			3					8									17
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		育児・介護による短時間勤務、県の障害者雇用拡大事業と連携した障害者雇用の促進、定年再雇用による高齢者雇用制度等を充実させている。				4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3						16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。		●	新型コロナ予防対策通達を適宜発出し、周知を行っている。内容としては、時差出勤、直行直帰、交代勤務、テレワーク、web会議の活用等。建物入口には検温器、消毒液等完備している。			3					8	9.1		11	12					
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。		●	本業であるビジネスソリューション事業を自社でも取り込み、テレワークやweb会議ツールとして活用している。								8	9.1		11	12					
	21	【ブライト企業】 ・ブライト企業に認定されている。		●	2017年認定済。			3	4				8	9			12					

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　レイメイ藤井

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット) 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		施設の改修時にはPCBやアスベスト除去等適切な管理のもとで処理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		建替え予定の熊本本店では電源監視システムを導入し、電力の使用料の見える化および温室効果ガスの排出量の把握を行い、省エネを促進する。【2022年8月～予定】							7.3						13				
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		建替え予定の熊本本店では電源監視システムを導入し、電力の使用料の見える化および温室効果ガスの排出量の把握を行い、省エネを促進する。【2022年8月～予定】		2.4					7.2 7.3 7.a					12.4	13	14	15		
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境（生物多様性や生態系等）に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		省エネ、廃棄物の分別（事業用ごみ～粗大ごみまで。在庫廃棄等の際のマニュフェスト取得等）により生物多様性への配慮を行っている。						6.6								14	15		
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）に取り組んでいる。	●		職場内ではごみの削減（机周りにゴミ箱を置かない）、分別管理の徹底を実施。また引き揚げてきた事務機器を再利用する「リユースる」を事業の一環として運営している。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15		
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		建替え予定の熊本本店では自動水栓、個別感知式自動洗浄センサー付小便器、トイレには雑用水系統の利用等にて水資源の質と保全を促進する。【2022年8月～予定】		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6					11.5			14.1 14.2 14.3	15		17
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる（グリーン購入、リサイクル製品認証等）。	●		九州の間伐材を利用した「木になる紙」を販売している。その他環境に配慮した紙製品及びリサイクル製品等の利用促進を行っている。									9.4			12.4 12.5	13	14	15		
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。		●		1	2				6.4						12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。		●	現在熊本本店建替えに着手（2022年夏完成予定）。新築建物には屋内外に緑化を図り、周辺の街並みと呼応した形で熊本の緑の保全・育成に努める計画。【2022年8月～予定】											11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。		●	建替え予定の熊本本店ではZEB（Net Zero Energy Building）を見据えた先進的建物を構築予定。建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指している。【2022年8月～予定】							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3				
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・"伐って、使って、植えて、育てる"の持続的な森林利用への取組みを推進している。		●	再生紙、FSC認証紙、植林木製品の使用、販売を行うことで資源のリサイクルや適切で持続的な森林利用を推進している。						6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。		●	森林調査用ドローンを販売提案することにより、森林整備活動へ取り組んでいる。						6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15		
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。		●													12.2 12.5		14			
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。		●										9.4		11.2		13.1 13.3				
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。		●								7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名：株式会社　レイメイ藤井

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

（様式第2号）

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み（※事業者が記載する欄）	主なSDGs（17のゴールと169のターゲット） 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		製品の卸・設置時には万全の態勢で安全・迅速に納品することを従業員には教育を行っている。			3.9						9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン 】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		建替え予定の熊本本店では、バリアフリーはもとよりウェルネスオフィスとして従業員ならびに来社されるお客様にとって快適かつ効率性の高い空間づくりを計画している。(コミュニケーションの場、ライブオフィス、衛生面への配慮等)【2022年8月～予定】									9.1	10	11.7						17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●	建替え予定の熊本本店では、床材として、1階、3階フロアの一部に、熊本県産材のヒノキを使用する計画となっている。【2022年8月～予定】		2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●								7					12.2	13.1		15		
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●	農業用ドローンの販売・技能認定講習を通じ、ドローン導入することで持続可能な儲かる農業を提案している。		2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		自治活動や地域のイベント等に積極的に参加あるいは寄付等により地域活性化に資する取り組みを積極的に行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	44	【防災、減災、レジリエンス（自助）】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		年に数回の防災訓練を実施するなかで、BCP体制や対策の見直しを適宜行っている。				4							11.5		13.1			16	
	45	【防災、減災、レジリエンス（共助）】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4						10.2	11.5		13.1			16	17
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●	複数の取引先を通じて、防災関連グッズ（企業向け備蓄品、緊急時持出袋等）や感染予防対策商材（マスク、消毒液、アクリルパーテーション等）を仕入れ、防災関連商材販売にも力を入れている。									9		11	12	13.1				
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	環境に配慮した印刷用紙の販売と、取引先に対して、SDGs普及啓発行動として、環境対応商品の勉強会を不定期ではあるが行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	福岡本社、又は熊本本店において、インターンシップの受入れを毎年実施。児童への職場体験や出前授業等による社会教育にも寄与している。				4				8.6		10.2							17
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元高校・大学をはじめ、Uターン就職者等（中途含む）への門戸を拡げ、地元への就職を促進している。				4.4				8.5 8.6									17
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●	県立農業高校へのドローン体験会や出張授業を通し、農業への担い手育成への協力を行っている。		2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15		17

25　25

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具合的な取組みを記載してください。
・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。